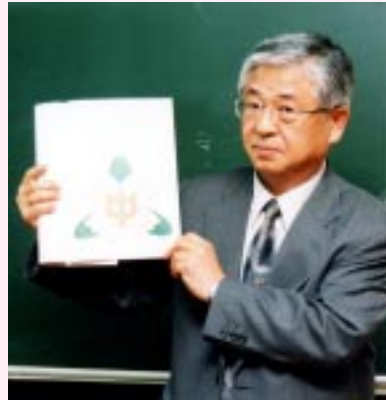


新しい校章と校歌を決定！

町立中学校統合推進協議会



また、校歌については、本町(金山)出身者で歌人 山名薫人を父にもち、北海道新聞歌壇選者や北海道歌人会代表を務める山名康郎さん(札幌南ふらの会会長・札幌市)に作詞を依頼し、作曲は元北海道教育大学名誉教授で、現在は札幌音楽専門学院教授の大塚夏生さんに依頼してこのほど完成されました。

協議会の秋元忠会長(町教育長)は、「町木クルミの葉と町花ヒナゲシがデザインされていて、我がまちの新しい中学校にふさわしい校章になった。校歌にも、美しく豊かな自然が詠われている。」と感想を語っていました。

町内4中学校を統合し、平成17年4月開校に向けた課題を協議している町立中学校統合推進協議会の第6回会議が、6月25日、総合福祉センターで開催され、年度替わりで異動のあったPTA選出委員と教職員選出委員の変更、3部会の委員構成の変更、校歌・校章について話し合わせ、全会一致で決定されました。

南富良野中学校 校章



町花ヒナゲシの4枚の花びらは閉校になる4校のまとまりを意味し、3枚のクルミの葉は、知育・徳育・体育の3つを表す。

南富良野中学校校歌

作詞 山名 康郎
作曲 大塚 夏生

みどりなす森と山々

はるか聳える十勝岳

豊かなる大地の恵み

たゆまず学び 知識磨かん

集つ若人 南富良野中学校

水清き空知の流れ

四季を彩るかなやま湖

風薫り歌声高く

郷土の歴史を 未来につなぎ

夢羽ばたけよ 南富良野中学校

大いなる太陽の子ら

美しき心を磨き

遅しく体を鍛え

希望に燃えて 睦み励まん

親し友がき 南富良野中学校

宝くじ助成金で

煙体験テントなどを整備

地域コミュニティの発展と宝くじ事業の普及を図るため、財団法人自治総合センターのコミュニティ助成事業により、幾寅婦人会防火クラブ(佐藤圭子代表)に「煙体験テント」「モバイルプロジェクト」「三脚スタンドスクリーン」が整備されました。

同クラブは、昭和59年に結成された自主防災組織で会員数51名、毎年春と秋の火災予防運動で町内の独居老人宅への巡回指導などを続けており、今回の機器整備により地域住民に対する防災・災害予防の啓発普及に寄与しようとするもので、消防南富良野支署が管理保管し、他の防火クラブの研修や学校での避難訓練などにも貸し出されます。



幾寅婦人会防火クラブの皆さんと整備された「煙体験テント」などの機器